

田原市秩父帯の断層鏡肌

田原市の秩父帯にはところどころに断層鏡肌が見られます。その多くはチャート中の断層です。



C 地点はアカホヤ火山灰に酷似した火山灰
(未発表)

←村松の断層鏡肌 (2025 年撮影)

断層鏡肌は秩父帯のジュラ紀付加コンプレックスでよく見られます。大きなものでは、村松の断層鏡肌、光岩、^{おうむいし}鸚鵡石などが知られています。

上の写真は田原市村松町の断層鏡肌 (A 地点) です。1985 年頃は樹木もなくよりきれいに見えました。高さ 6m、幅 20m の鏡肌で 水平に擦痕がみられ、断層が横ずれであることがわかります。高さ 60m ほどの小山があったその東半分が牧場をつくるために削り取られ、その工事で出現したそうです。残念ながら？

足場用の穴がいくつかあけられています。池田ほか (1986) によれば、断層破碎帯が観察され、下盤 (南側) はチャート、上盤 (北側) は黒色粘板岩からなっています。A 地点から走向方向にあたる西側の山地が断層によってくぼんでいます (断層鞍部：地図の左下部分)。

村松の断層鏡肌の南東の田原市八王子町 (地点 B) にもチャート中の断層鏡肌が見られます (写真右)。上方が樹木に覆われていますが全体は大きい鏡肌のようなです。



八王子町の断層鏡肌→



村松の断層鏡肌 水平方向の擦痕が見られます



村松の断層破碎帯??



鏡肌西端の露頭



鏡肌の露頭の上面の岩石



断層上盤?の黑色粘板岩



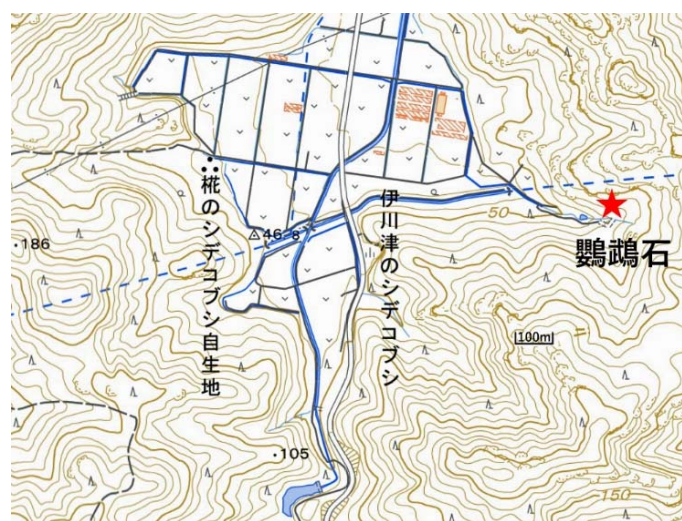
露頭 A' のチャート

光岩は田原市赤羽根町西山にあります。田原市赤羽根環境センターの奥から左手の山（西山）を登ると標高 120 m ほどの北向き斜面にあります。

おうむいし
鸚鵡石は田原市伊川津町椀にあり、横幅 10m 高さ 8m のチャートの露頭です。黒灰色で風化したところは灰白色のチャートの断層鏡肌です。水平方向と上下方向に節理がありますが、左上から右下に擦痕が見られます。



光岩（断層鏡肌）



鶯鷗石（断層鏡肌）

以前は(伊良湖ビューホテル:現伊良湖オーシャンリゾート) 駐車場東端にも幅約 6m高さ約 3mの鏡肌があったそうです。断層の走向は N20° E, 傾斜は 30° W と報告されています。

右の写真は和地町土田の断層鏡肌で、日出の石門などいくつかの地点で断層鏡肌が知られています。

(最初の地図で示された地点 C はアカホヤ火山灰に酷似した火山灰が発見(未発表)されたところで「あいちの地質 99 97 中位段丘構成層福江層を参照してください。）」



参考文献

愛知県東部地質研究会, 1972, 東三河の地学アルバム, 鳳来寺山自然科学博物館, 147p.
 池田芳雄ほか, 1986, 親と子の面白地学ハイキング-東海編, 風培社, 45-46.
 村松憲一, 2019, 愛知県の地質とジオサイト 人と大地との関わり 第二版.189p.
 中島 礼・堀 常東・宮崎一博・西岡芳晴, 2008, 豊橋及び田原地域の地質, 地域地質研究報告

(5万分の1地質図幅), 産総研地質調査総合センター, 113 p.

中島 礼・堀 常東・宮崎一博・西岡芳晴, 2010, 伊良湖岬地域の地質. 地域地質研究報告 (5万分の1地質図幅), 産総研地質調査総合センター, 69 p.

【村松憲一】